

基本方針	指標	現況値 計画策定時	目標値 令和10年	R7.4.1時点	R8.4.1時点	評価・備考
Ⅰ．誰もが安心して利用でき、移動しやすい公共交通機関の構築 “地域をつなぐ”	コミュニティバス「もくせい号」の利用者数	4,877人/月 (令和4年)	5,390人/月	5,844人/月	6,080人/月	微増傾向が続いており、令和8年1月から町内在住の75歳以上の方を対象としたシニア割引制度を開始するなど、利用促進施策に取り組んでいる。
	地域の交通に関する新たな取り組み・実証実験の実施回数	0回	1回	0回	0回	実証実験などの取り組みには至っていない。コミュニティバス運賃のキャッシュレス決済化や、適正な運行形態の検討など、継続して注力していく。
Ⅱ．地域間連携の強化と都市拠点の機能向上に資する公共交通の構築 “都市をつなぐ”	町内の鉄道利用者数 (寒川駅乗降者人員)	12,100人/日 (令和4年度)	13,600人/日	13,070人/日	未集計	東日本旅客鉄道株式会社のホームページで公開している乗車人員数を2倍し、乗降客数の推計値を算出している。令和5年度数値は12,894人/日であり、微増傾向が続いている。
	町内のバス路線数	8路線	8路線	8路線	8路線	一部路線では減便があったが、路線数は維持されている。
	サイクル&バスライド用駐輪場の整備	1箇所	3箇所	1箇所	1箇所	新たな駐輪場設置には至っていない。公共用地への設置検討と併せ、バス停に隣接する店舗等への協力依頼など、引き続き取り組みを模索する。
Ⅲ．サービスの質を高め、多様な移動ニーズに対応した公共交通の構築 “未来につなぐ”	シェアサイクルポート数	6箇所	9箇所	6箇所	10箇所	OpenStreet株式会社により、R7年度中に4か所増設。また、今後自転車利用環境の整備推進に向けて自転車ネットワーク計画の策定準備を並行して進めていく。
	バス待ち環境の改善数	0箇所（停留所）	3箇所（停留所）	0箇所（停留所）	0箇所（停留所）	具体的な環境改善は実施できていない。道路構造や関係法令等の制限により実施が困難なバス停もあるが、継続して検討を行う。
	コミュニティバス「もくせい号」の収支率	15.0% (令和4年度)	20%	19.63%	15.85%	利用者数は微増傾向が続いているものの、人件費や燃料費の高騰の影響からR7年度は収支率が悪化した。

その他施策の状況

I. 地域をつなぐ

- シニア割引制度の開始（R8.1月～）

R8.3月末までに約5,000人が利用。

R8.4月末時点で約800人に割引証を交付。



- 障がい者運賃割引適用拡大（R7.9月～）
障がい者本人に加え、介護人も運賃割引（50円引）の対象に。

II. 都市をつなぐ

- 小学生ポスター（R7.11月）掲示
こども達に向けた相模線に対するマイレール意識醸成の取り組み。
※相模線沿線活性化協議会として実施



- 迂回運行の期間延伸
年始の寒川神社周辺の渋滞対策として、コミュニティバスおよび海老名駅寒川駅間路線バスの迂回運行を実施。
令和7年度からは渋滞状況を鑑みて迂回期間を延伸。

**海老名駅-寒川駅間
路線バス年末年始運行のお知らせ**
年末年始は下記のとおり運行します。皆様のご理解ご協力をお願いします。

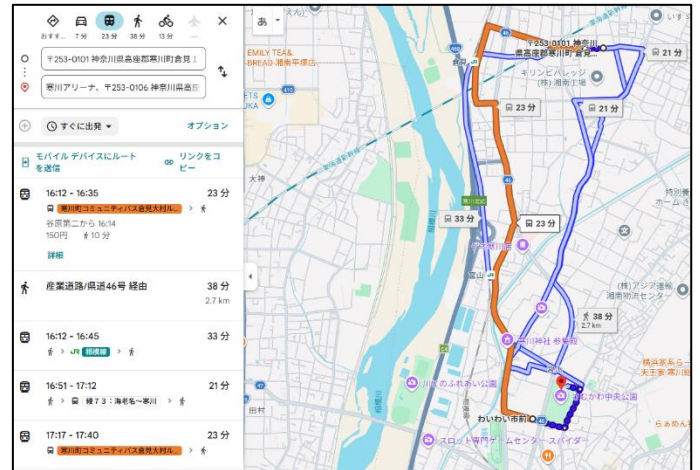
①土休日ダイヤで運行します
2025年12月27日（土）～2026年1月4日（日）まで
土休日ダイヤ（1日6往復）で運行します。

②一部ルートを変更します
※このルート変更による
ダイヤの変更はありません。
2025年12月27日（土）～2026年3月29日（日）まで
寒川神社周辺の交通状況を鑑み、一部ルートを変更します。
「寒川神社」・「寒川郵便局前」のバス停に停車しません。
ので、ご注意ください。
また、「寒川神社参道」のバス停がルート変更の期間中、
移設されます。（右図参照）
寒川神社参拝には「寒川神社参道」
をご利用ください！（徒歩約5分）

〔お問い合わせ先〕
相鉄バス東 総務営業所 0467-78-5681 神奈川中央交通西 平塚営業所 0463-55-7700

Ⅲ. 未来につなぐ

- コミュニティバスの GTFS 対応
コミュニティバスの利用にあたり、GoogleMAP 等の経路検索に対応。



- バスマップの改定（R8.4 月）
乗継ぎの利用促進を意図し、路線バスルートを追加



- 自動運転バスの乗車会（R7.8 月）
車両の撮影会（R7.4 月）に協力



- 町産業まつりでのバス車両展示
（神奈川中央交通）

